

3 地参知笑部会関連資料

■みやまえ情報サポーターズ養成講座プログラム

主催 宮前区役所

一緒に雑誌づくり

集まって！！



転入者へ配布 1万部製作

みやまえ情報サポーターズ 養成講座

全15回

5月10日～

講座内容

- ・雑誌づくりの基本
- ・写真の撮り方と編集
- ・雑誌記者との同行取材体験
- ・インターネットでの情報発信 etc.

講師

現役記者／雑誌編集者
コーディネーター
第3期宮前区区民会議委員



動画配信講座

本当に雑誌を発行します！！

本講座では、宮前区発行の雑誌の作成や、区内の情報発信をしていただける情報サポーターを養成します。

実際に20ページ程度の雑誌を作成します。

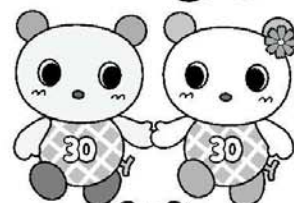
また、講座終了後の活動も大歓迎です。

文書を書くのが好きな人、写真がご趣味の方、イラストを描く方、パソコンに詳しい方…ご自分の趣味や特技を活かして、一緒にみやまえを盛り上げませんか？

4月17日 申込開始



定員20名
先着順




miyamae 30th

問い合わせ先：宮前市民館
〒216-0006 川崎市宮前区宮前平 2-20-4
電話：044-888-3911 ファクス：044-856-1436

講座詳細
申込方法
裏面



みやまえ情報サポーターズ養成講座 プログラム (案)

回	日にち	テーマ	サブテーマ	講師など
1	5月10日(木)	オリエンテーション	こんな雑誌を作ります	第3期区民会議委員
2	5月17日(木)	雑誌ができるまで	雑誌づくりとまちづくり	マイタウン 岩倉編集長
3	5月24日(木)	ライター的心得 (現場記者の本音)	取材7つ道具と1ポケット	タウンニュース記者
4	5月31日(木)	企画・編集会議	取材場所や雑誌レイアウト などをグループで話し合う	タウンニュース記者
5	6月14日(木)			タウンニュースデザイナー 区民会議委員
6	6月28日(木)	実技 同行取材	プロの取材活動を見学	タウンニュース記者
7	7月～9月 取材活動 と編集	3グループに分かれて 取材と原稿作成		◆第9回、第11回 タウンニュース記者 タウンニュースデザイナー
8				◆取材活動全般 区民会議委員の取材協力 区役所職員が各グループ をサポート
9				
10				
11				
12	10月11日(木)	版下原稿の発表	各チームの汗と涙の結果	タウンニュース記者
13	11月8日(木)	ソーシャルメディア	新しい時代の情報伝達方法	未定
14	11月22日(木)	実技 動画配信	オリジナル動画を世界に発信	
15	12月13日(木)	閉講式 (雑誌発刊)	今後の活動について・・・	区民会議委員

※時間は午前10時～正午

※第7回～第11回の日程は受講生や取材先の都合により決めます。

●講師紹介

岩倉 宏司氏

地域情報紙+サイト「マイタウン」などの(株)エリアブレイン代表。新百合ヶ丘のまちの魅力発信のため日々奮闘。NPO「しんゆり・芸術のまちづくり」企画委員。

原田 一樹氏

県内全域と町田市、およそ221万部を発行する(株)タウンニュース社、川崎支社支社長。「報道を通して社会貢献」を、「情報を通して豊かな生活」を皆さんに届ける紙面を作り続けている。



※講師は変更になることがあります。

- <対象> 宮前区内の情報発信に関心のある方20名
- <会場> 宮前市民館ほか (取材活動は宮前区内で行います)
- <参加費> 無料 (ただし、取材活動での交通費は自己負担)
- <保育> 1歳半以上の未就学児 (要申し込み)
 - ・保育保険料等として1名につき年間で850円
 - ・取材活動の当日は、保育はありません
- <申し込み> 4月17日(火) 午前10時から
電話か直接、宮前市民館にて受付 (先着20名)
宮前市民館 電話：044-888-3911

**15回の講座で、雑誌
ができちゃうんです。
一緒に作りませんか？**



申し込みにあたってご提供いただいた個人情報は、本事業の目的でのみ使用し終了後に破棄いたします

■「地域への参加を促す雑誌」についての参考資料

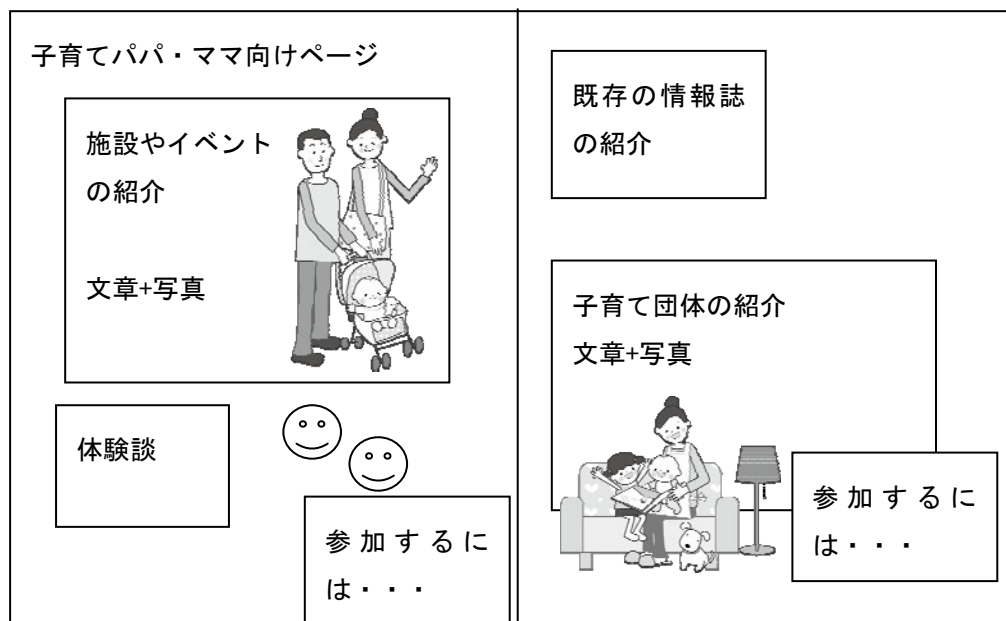
「地域への参加を促す雑誌」の制作について、提案ではコンテンツのイメージ（P12）を提示するとともに、具体的な内容は平成24年度の講座受講生が話し合って決めることとなります。参考資料として、地参知笑部会で提案に至るまでの過程で出された、コンテンツやページレイアウトのイメージを掲載します。

◆ガイドブックコンテンツのイメージ

1 世代別レポート	
中学生・高校生・大学生	<p>【場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安くておいしい店 ・無料で勉強できる施設 ・デートスポット ・スポーツができる場所+ミクシーでの情報交換 <p>【人・組織・情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民館の若者グループ「文化魂」 ・イベント・サークル紹介
若い(子育て)世代	<p>【場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店（子連れでも気にならない） ・公園+利用しているサークル情報 ・散歩コース ・病院 <p>【人・組織・情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサークル ・子育てで困ったときの情報 ・食育講座
働き世代	<p>【場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店（買い物・飲食） ・散歩コース ・広場 ・地産地消の直売所 ・貸し農園 ・家族で行ける場所（なし狩りなど） <p>【人・組織・情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベント（祭り・盆踊り・初詣等）
高齢世代	<p>【場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園+サークル・体操の情報 ・店 ・病院と交通手段 ・散歩コース ・花の見える場所 <p>【人・組織・情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体紹介 ・老人クラブ ・運動や体操、スポーツを通じた健康づくり情報

2 体験できるページ	
世代を超え 体験（参加） できること	<p>【神社・寺院関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御神輿担ぎ手募集 ・神社の行事 ・お宮参り、交通安全祈願 <p>【町会・自治会関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り ・町会・自治会の運動会 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験農場 ・手芸等 ・ネイチャーゲーム、自然体験、里山体験 ・冒険遊び場 ・マリアンナ病院体験 ・スポーツクラブ ・イベント情報（坂道ウォーキングなど） ・活力づくり部会とのタイアップ
3 ゲーム等	
参加につなげるゲーム的 な仕掛け	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォークラリーによる宝探しやクロスワードパズルによる謎解き ・バッジプロジェクト ・スタンプラリー
4 ガイドブックのガイド	
次ページの「宮前区の地参知笑に関連するガイドブック一覧」参照	
5 区のプロフィール	
	人口、景色、歴史、産物

◆冊子のページのイメージ例



■宮前区の地参知笑に関連するガイドブック一覧

川崎市内をターゲットとしたガイドブック類				
分野	ガイドブック名	宮前区との関連	発行年月	発行部署
生活	かわさき生活ガイド	窓口業務・施設案内など	毎年	市民・子ども局シティセールス・広報室
名所	川崎の産業観光	電車とバスの博物館	23年	経済労働局産業振興課
	かわさきのミュージアム	電車とバスの博物館	23年2月	博物館等連絡会事務局
	川崎日和	影向寺、菅生神社、等覚院、カッパーク鷺沼、フロントタウンさぎぬま、有馬療養温泉、宮前メロン、カトルカール、駿河屋製菓など	22年3月	経済労働局商業観光課 川崎市観光協会連合会
	かわさきいいな。	電車とバスの博物館 フロントタウンさぎぬま カッパーク鷺沼	22年	市民・子ども局シティセールス・広報室
	Discover Kawasaki(外国人向)	有馬療養温泉	-	経済労働局商業観光課
自然	かわさきのみどり遊歩道 ガイドマップ	野川ふれあいの森 南野川ふれあいの森	-	環境局緑政課
産物	かわさき名産品	洋菓子工房マカデミア 太平屋野川店 駿河屋製菓	22年	川崎商工会議所 川崎市観光協会連合会
	かわさきそだち農産物共同直売所マップ	宮前直売所 かわさき農産物ブラン	22年5月	JAセレサかわさき 市農業振興センター
シニア	いきいきシニア活動インフォメーション	シニア活動	22年6月	総合企画局自治政策部

宮前区内を主なターゲットとしたガイド類			
分野	ガイドブック名	発行年月	発行(所管)部署
歴史	宮前歴史ガイド	22年3月	地域振興課
健康	宮前区公園体操マップ	22年8月	地域保健福祉課
	宮前区ストレッチ体操～風の中で～	22年	地域保健福祉課
市民活動	まちづくり・市民活動応援カタログ	24年2月	地域振興課
	みやまえ市民活動のなかま	23年2月	地域振興課
	宮前区市民活動応援マップ	22年3月	地域振興課
	「活動の場」ガイド	22年3月	地域振興課
	はいりませんか 町内会 自治会	-	地域振興課
自然	平瀬川探索マップ	21年	平瀬川流域まちづくり協議会
	水沢の森 花ごよみ	20年4月	水沢森人の会
	樹木の里めぐり	-	セレサ川崎など
子育て	みやまえ子育てガイドとことこ	22年	子ども支援室
名所	みやまえガイドマップ	毎年	地域振興課
	宮前区ガイドブック	18年9月	地域振興課
産物	宮前区向ヶ丘地区周辺農産物直売所マップ	20年3月	市民館菅生分館
	宮前区食育ガイド	23年3月	地域保健福祉課
イベント	歳時記みやまえ	毎月	企画課

4 第2期区民会議提案への取組

第2期宮前区区民会議の提案

提案1:公園を知ってもらおう!～公園内に掲示板などを設置～

提案2:「冒険あそび場」をひろめよう!

提案3:もっと公園を楽しもう～宮前区公園月間の設定

提案4:公園・緑地管理運営協議会の活性化のための支援

提案5:宮前区のカルタをつくろう!

第2期区民会議からされた提案のうち、現在「冒険あそび場」「みやまえカルタづくり」に関する事業を進めています。それらの内容について紹介します。

1) 「冒険あそび場」をひろめよう!

【事業の趣旨】

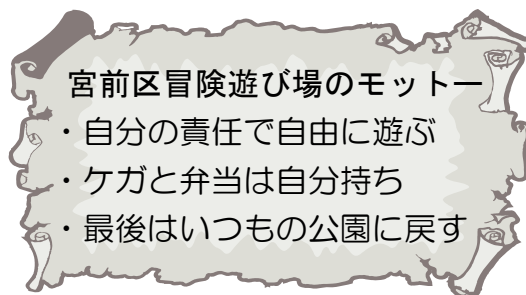
公園を次世代育成や地域コミュニティの場として活用していくため、地域の人達が中心になって立ち上げる冒険遊び場活動を区役所が支援することで、冒険遊び場を区内に広めていく

【区役所の支援体制】

こども支援室、道路公園センター、地域振興課、企画課、生涯学習支援課（市民館）

【支援メニュー】

相談・情報提供、試行開催のサポート、団体登録、開催グッズの貸与、必要物品の貸出、地域人材の紹介、冒険遊び場の普及・啓発、グループ同士の交流の支援



【これまでの取組】

《平成22年度》

- ・「宮前区冒険遊び場支援検討委員会」を立ち上げ、宮前区における冒険遊び場のルールと行政支援のあり方を検討。全11回。
- ・11月23日（祝）検討委員会の委員が自らモデル事業を企画・実施し、必要な支援メニューを検証。開催場所：土橋1丁目公園 参加者：約150名
- ・3月10日（木）「宮前区冒険遊び場支援検討委員会総括報告書」をまとめて区長に報告。



検討委員会の様子



土橋 1 丁目公園でのモデル事業



区長に報告書を提出

《平成 23 年度》

- ・ 4 月 1 日（金）宮前区冒険遊び場活動支援要綱 施行
- ・ 9 月 11 日（日）冒険遊び場シンポジウム 参加者：約 50 名
基調講演「地域の中の冒険遊び場とは」
講師：西野博之氏（川崎市こども夢パーク所長）
パネルディスカッション「宮前区の外遊びの現状と課題」
針山直幸氏（菅生こども文化センター統括館長）
久保浩子氏（親子で一緒に外遊びの会代表）
山岡洋子氏（宮前区こどもの遊び場を考える会ポレポレ前代表）



パネルディスカッションの様子

- ・ 9 月 30 日（金）「冒険遊び場支援委員会」設立総会
区民主体の活動支援組織として支援委員会を立ち上げ。区民委員 15 名、協力団体 7 団体。
- ・ 10 月 5 日（水）～12 月 7 日（水）宮前市民館「冒険遊び場づくり講座」受講者：17 名
市民自主企画講座として企画委員を公募し、講座の内容を決定。全 8 回の連続講座。
 - ・ 日本冒険遊び場づくり協会の天野秀昭氏と嶋村仁志氏による座学（2 回）
 - ・ 川崎市こども夢パークで遊びの体験実習（1 回）
 - ・ 2 つのグループに分かれて実際に冒険遊び場を企画・実施・振り返り（5 回）
土橋 1 丁目公園冒険遊び場 11 月 30 日（水）13 時～14 時 30 分
宮崎第 1 公園冒険遊び場 12 月 6 日（火）10 時 30 分～14 時
 講座修了後、受講生を中心に上記 2 つの公園でグループが立ち上がり、現在グループ登録と本格的な活動の開始に向けて準備中



講義の様子



土橋 1 丁目公園での実習



宮崎第 1 公園での実習

- ・ 10月16日（日）宮前区民祭「出張冒険遊び場」
菅生緑地で開催。10時～15時。参加者：約500名
日本冒険遊び場づくり協会からプレイリーダー3名を
派遣してもらい、冒険遊び場支援委員会と協働で開催。
リーフレットを配布し、冒険遊び場活動支援事業の取
組についてPR。



- ・ 2月29日（水）「冒険遊び場ミニ講演会」菅生分館
子育て中の母親を対象に、外遊びを通して成長する子どもの姿や、そこに地域の大人
が関わることの意義などを知ってもらうための講演会。
- ・ 3月7日（水）「冒険遊び場ブラッシュアップ研修会」土橋1丁目公園
冒険遊び場活動団体のメンバー及び冒険遊び場づくり講座の修了生を対象に、冒険遊
び場の実践に必要となる「遊び」や「事故対応」の技術を身に付ける研修会。
- ・ 3月25日（日）「プレーパークランド(出張冒険遊び場)」菅生こども文化センター
向丘地区の親父の会との協働で、菅生こども文化センターのプレーパークゾーンを使
ってイベントを企画・実施。向丘地区における冒険遊び場展開の足掛かりとする。

【これからの取組】

最終的には、子どもが徒歩や自転車で行くことができる範囲（中学校区ごと）に冒険
遊び場が立ち上がるように、引き続き要綱に基づく活動グループの立ち上げ支援と、出
張冒険遊び場、冒険遊び場づくり講座、冒険遊び場シンポジウム・講演会等の各種事業
を実施していく。

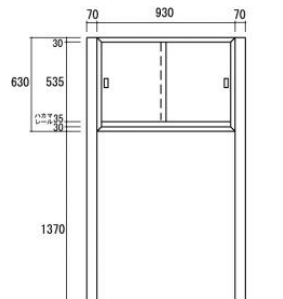
2) 公園を知ってもらおう!～公園内に掲示板などを設置～

【事業の趣旨】

公園で活動している団体の紹介や公園で行われるイベント等に関する情報を発信することで、公園の利用促進と地域コミュニティ活性化を図るため、公園内に掲示板を設置する。

【掲示板設置の条件】

- ・対象とする公園は、公園管理運営協議会が管理する公園に限定。
- ・市と公園管理運営協議会が管理協定を結んだ上で掲示板を設置。
- ・掲示板に掲載できる情報は、公園内で行われる活動に限定。



【役割分担】

- ・掲示板の設置 → 区役所
- ・掲載情報の募集と更新、掲示板の維持管理 → 公園管理運営協議会

【掲示板の仕様】

- ・本体サイズ：縦 630mm×横 930mm ・材質：アルミ押出型材
- ・掲示面：ピン刺し(レザーシート張り) ・引き戸：透明アクリル板(シリンダー栓錠)

【これまでの取組】

《平成 22 年度》

- ・すべての公園管理運営協議会を対象に、情報掲示板の設置に関する意向を把握するため、アンケート調査を実施。(送付数 68, 回収数 52)
- ・情報掲示板があったら良いと思いますか?
 - はい (29)、いいえ (22)、無回答 (1)
- ・自由記入 はい :公園のイベントや協議会の活動を多くの人に知ってもらえるから。草取りや花植え清掃活動など近隣の方々に広報できる。公園に遊びに来る保護者にお知らせを見てもらえる。
- いいえ :公園の一角に町内会の掲示板があるため。公園の形状から設置に不向き、維持管理が大変。公園でのイベント等不可、手狭、住民への騒音等。現在大きなイベントは自治会の祭りのみで、自治会掲示板、回覧等で十分周知されている。自由に楽しむ公園として親しまれていて、これ以上イベントがあればかえって迷惑。
- ・アンケート調査の結果から、ただちに掲示板の設置を本格実施するのではなく、掲示板による情報発信効果や公園管理運営協議会による維持管理の方法等を検証するための試行的なモデルとしてテスト実施することとした。
- ・アンケート結果から、定期的かつ継続的に活動が行われている公園で、掲示板の設置を希望している公園管理運営協議会を対象に、3公園を選定して掲示板を設置。

公園名称	公園規模	活動内容
初山第2公園	807 m ²	初山すこやか体操、ゲートボール、防災訓練、こども会サッカー
宮崎第3公園	3,447 m ²	健康体操、ディスプレイ、植樹・花植え
鷲ヶ峰公園	1,130 m ²	菅生すこやか体操、お祭り、餅つき大会、夏休みリフレッシュ体操



宮崎第3公園の様子

「公園情報掲示板の活用状況に関する報告書」の評価

(1) 情報掲示板の活用状況
(掲示物の数)

	4~6月	7~9月	10~12月
宮崎第3公園	4	4	2
初山第2公園	1	2	2
鷲ヶ峰公園	3	3	5

(2) 掲示物の情報発信効果

- ・ 掲示物は見てもらえている
- ・ 掲示物を見て参加するようになった人がいる
- ・ 掲示物を貼りたいとの引き合いが最初はあったが、その後は無くなった

(3) 維持管理の方法について

- ・ 掲示物の更新や鍵の管理はスムーズにできた
- ・ 落書きや破損等に対応した事例は1回だけあったが、その後は無い

(4) その他

公園体操については長期間のため立て看板を設置し掲示物は貼らなかった。自治会の定例行事はチラシを各戸配布しており、これも掲示物は貼らなかった、との意見あり。

《平成23年度》

- ・ 情報発信効果について公園ごとに評価が分かれ、本格実施に移行するか否かの判断が難しかったため、モデル数を増やすと共に調査項目を精査した上で平成23年度もテスト実施を継続することとした。
- ・ アンケート調査の結果から、定期的かつ継続的に活動が行われている公園で、掲示板の設置を希望している公園管理運営協議会を対象に3公園を選定し、うちテスト実施への協力が取れた2公園で掲示板を設置。

公園名称	公園規模	活動内容
向ヶ丘公園	3,447 m ²	健康体操、花見、夏祭り、防災訓練、もちつき大会
平4丁目公園	2,941 m ²	公園体操、地域の盆踊り、交流会、樹木剪定

【これからの取組】

- ・ 公園管理運営協議会からの「公園情報掲示板の活用状況に関する報告書」、公園管理運営協議会の担当者へのヒアリング、公園で活動を行っている団体等へのヒアリング等により、テスト実施の結果を検証。
- ・ 掲示板による情報発信で、公園の利用促進と地域コミュニティの活性化を図ることができたか否かを検証し、本格実施に移行するか否かを判断。

3) 宮前区のカルタをつくろう!

【事業の趣旨】

カルタづくりを通して、子どもから大人まで幅広い世代がかかわりながら地域の「資源」を掘り起こし、宮前区の「宝」・「顔」へと進めていく中で区民に地域への愛着を深めてもらおうと、第2期区民会議から提案されたものです。

【「みやまえ地域カルタ」にはこんな札があります】

㊦ くもりを 感じて味わう わがままイチゴ

*平小学校の近くの住宅街の中にイチゴ農家があり、苗の段階からイチゴの“わがまま”をひとつひとつ聞きながら育てた『わがままイチゴ』と名づけたイチゴを作っています。毎年、春先には、イチゴ狩りも楽しめます。



【これまでの取組と今後の予定】

《平成22年度》

- ◆「地域のカルタ」札案の募集

《平成23年度》

- ◆「地域のカルタ」制作
(7中学校区分、12月完成)

- ◆地域のカルタを使ってイベント開催

- ・宮前区民祭（ジャンボカルタ大会）〔10月16日〕
- ・鷺沼小、西有馬小カルタ大会〔2月6、7日〕
- ・ラブみやまえカルタ大会〔2月18日〕など

《平成24年度》

- ◆区制30周年記念「みやまえカルタ」制作
- ◆秋の宮前区民祭でお披露目予定

7地区のみやまえ
地域カルタ



ジャンボカルタ大会の様子

【「みやまえカルタ」制作までの流れ】

候補となる「地域のカルタ」の札を区内施設で展示（区ホームページにも掲載）。市民意見などにより、7月頃（予定）に札を決定します。10月完成予定。

◆展示スケジュール

- ・区役所 区民会議フォーラム〔3月24日〕、2階ロビー〔3月25日～3月末〕
- ・向丘出張所〔4月9日～20日〕
- ・アリーノ（有馬・野川生涯学習支援施設）〔4月23日～30日〕

5 第1期区民会議提案への取組

第1期区民会議からの提案については、区役所の自主企画事業の「地域課題対応事業」を活用し、区民会議提案の実現に向けた協働事業などを実施しています。なお、第1期提案や取組状況の詳細は、各期の報告書をご覧ください（宮前区役所ホームページや宮前区役所で閲覧できます）。

■高齢者福祉関係

平成24年度 事業名	概要
健康づくり支援事業	区民が健康で生き生きと生活していくため、身近な健康づくりや取り組みやすい情報を提供する健康づくり情報紙を発行します。
地域が主体となった高齢者の見守り促進事業 （※下記参照）	高齢者の孤立化を防ぎ、地域で安心して暮らしていくために、区内の公営住宅において、住民同士の顔の見える関係づくりを進め、地域主体の見守り活動や居場所づくりにつなげるための取組を行います。
シニアライフ支援事業	シニア世代の人生設計や生きがいづくりをサポートするとともに、その活力を地域で活かすために、相談窓口を開設します。

◆地域が主体となった高齢者の見守り促進事業

【取組の背景等】

- 宮前区に多い公営住宅では、階段昇降の負担や坂の多い地域性、交通の不便さなどによる影響などから閉じこもりがちになり、地域から孤立化する高齢者が増えることが危惧されています。
- 公営住宅において高齢者が住みなれた地域の中で安心して暮らしていくために、住民同士の顔の見える関係づくりを進め、地域にかかわる人々が協力して高齢者の見守りや居場所づくりを行っていくための支援を推進します。



【23年度の主な取組内容】

- モデル地区（2地区）において、自主的な見守り活動実施主体と連携してアンケート調査やワークショップ等を実施し、地域の見守り活動における課題抽出等を行うとともに、今後の支援・推進のあり方を検討しました。

■子育て支援関係

平成 24 年度 事業名	概要
子ども安全・安心見守り事業	登下校時に子どもを犯罪から守り、地域の安全を確保するために、宮前区子ども安全安心協議会の運営のほか、地域安全マップづくりの支援や情報共有を図るため通信を発行します。
子育て情報発信事業	子育て情報紙の発行やホームページの更新、乳幼児のいる転入世帯等に対する子育て支援に関わる情報を一体的に提供します。
宮前区子育て支援事業	親の子育て力を養成し、仲間づくりや子育てグループの人材育成を図るため、子育てに関する知識と技術を持つ公立保育園の人材を活用し、セミナーを開催します。
子ども支援ネットワーク事業	子どもに係る関係機関・団体等とのネットワーク強化を図るため、関係機関・団体等との会議を開催するほか、事例検討会、虐待予防のための講演会を開催します。

■明日のコミュニティ関係

平成 24 年度 事業名	概要
地域情報発信事業	世代間・地域間交流の活性化のために、地域のスポーツや祭りなどの情報をイベントカレンダーや地域ポータルサイトで広く発信するほか、町内会・自治会への回覧物を毎月1回一括して送付することで、地域情報の発信を効果的・効率的に行います。

◆「地域のたまり場」の創出（区民からの事業提案）

【取組の背景等】

- 商店街には、利用客の減少・空き店舗の存在などの課題がある一方で、地域には区民会議で審議されたように、高齢者の健康づくり、地域コミュニティの醸成など様々な課題があります。



【平成 23 年度の主な取組内容】

- このような課題の解決に向け、地域のたまり場として交流スペースを開設しました。健康マーシャンのほか、誰でも気軽に参加でき、お互いに交流できる場を設け、地域コミュニティを促進する取組を進めました。